

# とともに新聞



第一号

〇二〇二三年(令和四年)七月

輛の浦学園 学園会

## 「とともに新聞」第一号 刊行

輛の浦学園の学園会の子ども達を中心となり、地域をつなぐ新聞を刊行します。  
中国新聞社 山川文音さんとの出会いをきっかけに生まれた「地域の方達とつながりたい」「人と人とのつながりを生み出したい」という私達の思いが形になりました。取材を行い、記事を作成していく手作り新聞です。毎月発行していきます。



六月二十三日、山川文音さんの出前授業を受けました。  
三年生〜九年生が、それぞれの学年に応じた内容でお話を聞き、自分にとって興味があわくこと、もっと知りたいこと、やってみみたいことを見つけました。

## 新聞名決定!

五年生の三宅由珠さん作の「とともに新聞」に決定しました!  
「とともに」が意味するものとは・・・。

- 一 輛(とも) に彩りを!  
〜笑顔の花がいつぱい咲きますように〜
- 二 友(とも) に喜びを!  
〜みんなが幸せを感じられますように〜
- 三 共(とも) に生きよう!  
〜絆が深まりますように〜

絵の好きな児童生徒が描きました!

## 輛の景色

(八年 松木 美里)



## 「絆」リレー NO.1

輛の素敵な人を紹介します。



輛小学校出身の山川文音さんは、現在中国新聞社に勤務し、輛に関わって取材を積極的に行い、新聞記事として情報を発信しておられます。記者として大事にしていることは、事前にしっかりと調べしておくこと。「取材の7割が準備で決まる」ということを常に意識し、質問内容を決めておくということです。また、記事には正確さが求められるため録音するという工夫もされています。

直接関わる中で、伝わってきたその人の人柄や人間性を記事を通して伝えていきたいと笑顔で語られました。



取材や出前授業の中で、山川さんから大切なことをたくさん学んだので、今後の取材活動に活かしたいです。また、準備することの大切さは、私たちの成長に關って、すべてのことに通じることなので、これから意識していきたいです。

(九年 古山 朝子)  
(九年 山本 八依)

## ありがとうを伝えたい

NO.1



創業三十八年、おいしいラーメンの味を守り続けている十八番の上田泉さん。長い間、お店を続ける原動力となったのは、お客さんからの「おいしかったよ。」「また来るよ。」という嬉しい声。また来てもらった時に、「味が変わった!」と思われたいようにと、同じ味を守り続けているそうです。



チャレンジウィークで活動させていただく中で、お客さんはもちろんのこと働く人同士のコミュニケーションがとても大切だと感じました。そして、自分の役割を果たすために、責任感が必要だと学びました。これから、相手のことを考えてコミュニケーション力を高めていきたいと思っています。貴重な経験をさせていただきありがとうございます。 (七年 田口 晴也)

## なでしこの花の苗



美化委員会が種から育てたなでしこの花の苗があります。おうちで育ててみようと思われる方は、輛の浦学園まで連絡ください。  
TEL (084) 982-2043